



「個人」と「チーム」と「やれること」

先日閉幕したミラノコルティナ冬季オリンピックでは連日、日本選手のメダルラッシュが日本列島に元気を与えてくれましたね。フィギュアスケートりくりゅうペアの奇跡の逆転金メダルをはじめたくさんのドラマがありました。たとえメダルに届かなくても、直前の大けがを乗り越え出場したスノーボードハーフパイプの平野歩夢選手のように、4年に一度だけの人生をかけた大会のために、血のにじむような日々の努力を積み重ねてきた姿は人の心を強く打つのです。選手の皆さんには本当に心からの敬意を表したいと思います。でも、素晴らしいのはそれだけではありません。スキージャンプもフィギュアスケートも本来は個人競技ですが、チームとして戦うときに日本選手は個人がもっている以上の力を発揮したと感じました。ジャンプ混合団体では、ジャンプを成功させた丸山希選手以上に歓喜していたのは、チームメイトの高梨沙羅選手や出場を逃した伊藤有希選手だったそうです。また、フィギュアスケート団体の坂本花織選手は、ショートプログラム、フリーともトップ得点で滑り、2大会連続の団体銀メダル獲得に貢献しましたが、団体戦への思いを「みんなが見守ってくれているのが好きなんです」と話していました。



「苦労があるのは当たり前 これに感謝できれば学びだね 苦い経験 我が者も 見方変えれば光る宝物 やってしまっても隠れるな やってもらったら忘れるな」「今いる場所がどんなところでも やったら良い さどんなことも やれるのはきっと今だけだぞ あとで分かるそれが幸せだと 壁にぶち当たらない奴は 逃げてるだけで 変わらない明日が 失敗や無駄と思えることも やがて力となる誇れるほどの」

最近、心に刺さったケツメイシさんの「我が者達よ」の歌詞です。どんなことでもやったら伸びる、たとえ今は苦しくても。やったことは自分の出会いも世界も広げ、やがて誇れるほどの力となるのです。もうすぐ、n-Stageの第一幕が閉じようとしています。今の自分は、去年の頑張っていた自分に負けていないですか。自分の心に問うてほしいと思います。もし逃げてるだけの自分がいたら、ソイツに云ってみてください。

「あとで分かる それが幸せだと」。

1年次主任 渡邊 晃

～3月行事予定～ **3月は家庭学習日が多い！この期間をどう生かすか？！**

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	日	行	第78回卒業証書授与式	17	火	B	
2	月		3月1日の振り替え休日	18	水	B	
3	火	B	後期募集検査会場準備	19	木	B	
4	水		家庭学習日(後期募集)	20	金	祝	春分の日、春季特別課外
5	木		家庭学習日(後期募集採点)	21	土		春季特別課外
6	金		家庭学習日(後期募集採点)	22	日		春季特別課外
7	土			23	月	A	入学許可予定者オリエンテーション準備
8	日			24	火		家庭学習日(入学許可予定者オリ)
9	月	行	答案返却個人写真撮影(新2,3年)	25	水	行	後期終業式 退任・離任式大掃除 報告会 合格体験講話
10	火	A	小論文ガイダンス(1)、進路ガイダンス(2)	26	木		学年末休業 単位追認試験(1,2)
11	水	行	球技大会	27	金		
12	木	行	入学許可予定者発表新体力テスト(1,2)	28	土		
13	金	A	球技大会予備日	29	日		
14	土		新2年用教科書販売(イトーヨーカドー)	30	月		
15	日			31	火		
16	月	B	きずなの日、進路ガイダンス(1)				

保護者の皆様へ

早いものでもうすぐ西高での1年が終わろうとしています。この1年でお子様たちは大きく成長しました。しかし、これで十分ということはありません。自分自身について、友達との関係について、将来の進路についてなど悩みはつきませんが、時間に余裕のある3月に親子でこれまでの振り返りとこれからの展望について話す機会を設けてほしいと思います。3月14日(土)に新2年次生の教科書販売がイトーヨーカドー甲府昭和内「柳生堂書店」にて行われます。お取り置き等はできませんので、当日営業時間内に購入していただくようお願いします。詳細につきましては、お子様を通じて購入票をお渡ししますので、ご確認ください。

1年生を終えて -高校1年生小林少年が耳元で囁く-

1年5組担任 小林 康仁

高校生活、1年が過ぎようとしています。本当にあっという間で、みんなが入学して今日までに、小林的には濃密だったあの日々のほとんどが、すでに過ぎ去ろうとしていることに、心底驚いています。

自分自身を思い返すと、当時は色々ありましたが、最終的には「やっていてよかった」と思えることばかりです。楽しいことや好きなことはもちろんですが、ここで話題に挙げたいのは、できたら避けたいような辛かったり悲しかったりした経験についても、今では「経験してよかった」と思える、ということです。

高校1年生小林少年が経験した、先生に怒られたことであれ、テストの最低点であれ、仲間との諍いであれ、振られた彼女であれ、死んでしまった友達のことであれ…当時は本当にメンタル激弱で、何回もめげることが実際にありました。学校に行けなかったときもありました。ただ、そのままでは終わらず、そういう風にうまくいかないことや自分ではどうにもできない、満たされないことも、喉元過ぎれば熱さを忘れるように、少し客観的に捉えられるようになったときに、その意味が分かるような気がしています。

そして、今の生活の中で経験する、組織のルールは守ろう、守れなかったら速攻で謝ろうとか、誰かに実力が測られるときには言い訳せず全力でやってみようとか、仲間には言いたいことをちゃんと伝えようとか、人との縁（奥さんですね）を大切にしようとか…全て高校1年生の小林少年が「このままだとお前やばかったぞ！よかったな俺がいて！」と今の自分に言ってくれているような、そんな気がしています。ありがとう少年。

なので、今のみんなのこの生活、今その一瞬を一生懸命生きてみたら、それで十分だよ、と言いたいです。日はまた昇り繰り返します。少し踏ん張ってみて、ダメなら周りに力を借りて、一回休んでハイまた踏ん張って、みたいな繰り返しの先に、本当の意味で良い人生が待っていると思っています。

「昨日の自分より少しだけ」

1年5組副担任 望月 靖公

三月になりました。入学してから一年が過ぎました。

この一年、思ったより大変だった人もいるでしょう。テストで思わぬ点数を取り、「こんなはずでは…」と答案を二度見した人もいるかもしれません。部活や友人関係で悩んだ人もいるでしょう。

でも、高校生活はまだ二年あります。まだ折り返し地点にも来ていません。

日々を積み重ねていると、調子のいい日もあれば、なんとなく気が乗らない日もあります。

それでもやめなければ、少しずつ前に進みます。ゆっくりでも続けていれば、ちゃんと力はついていきます。

勉強も同じです。急に劇的に変わることはあまりありません。でも、毎日の積み重ねは、気づかないうちに自分を支える力になります。

この一年、よく頑張りました。

周りと比べすぎる必要はありません。

完璧でなくてもかまいません。

昨日の自分より、少しだけ前へ。

それで十分です。

